

理事長メッセージ

各 位

公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会
理事長 石井 清司

「新型コロナウイルス」での経験を活かして公益事業活動の道を拓いていこう

「新型コロナウイルス」の流行感染が全世界へと拡散し、日本も「緊急事態宣言」の発令を受け、全国に甚大な影響が及んでしまいました。まずもって、コロナウイルスに感染され、お亡くなりになられた皆様へ心より哀悼を捧げます。また、現在闘病されている皆様には、心よりお見舞い申し上げます。そして、医療従事者の皆様の活躍で多くの命が救われてきました。心より敬意をもって感謝を申し上げます。

完全終息までの道が見えず、第2次、第3次へと感染リスクを抱える中、私たちは、このウイルスとともに、新しい生活パターンをもって臨んでいかななくてはなりません。誰もが初めて体験している事態であり、時に戸惑いや苛立ちもあることでしょう。国民の皆様には様々な影響が生じている中ではありますが、これからも感染予防にご留意頂きたいと思えます。

さて、コロナウイルスは、申し上げるまでもなく老若男女問わず、感染することは生命を失うリスクと隣り合わせで、社会システムを脅かすものとなりました。生命保険の仕事に携わる私たちにとって、この経験は、いろいろと考えさせられる機会にもなりました。

これから生命保険の仕事に携わるうえで、大切な生命をどのように守っていくかということ、 私たちには仕事を通じて国民の皆様に広めていく役割と使命があります。

J A I F Aの活動を通じてその役割を共に考え、そして実行していくことが大切です。

「マスクが無い」「消毒液が無い」という声とともに、医療現場を含めて全国的に混乱が続きました。私たちは、この経験から、協会全体として、そして地方協会毎の活動も含めて、より身近で迅速な支援活動を検討をしていきたいと考えます。

緊急事態宣言の影響を受け、定時総会の開催が延びておりますが、本年度の活動テーマは、『Willpower（ウイルパワー）』～意志あるところに道はひらける～』としています。「どんな困難に直面しても高い志があれば必ず道は開ける」という希望と勇気に満ちた言葉です。いまこのとき、私たち生命保険営業職員は、会員である誇りを胸に公益社団法人という公益組織としての事業活動を通じて、会員個々が大きく進化発展するチャンスにしたいと考えます。

本部理事・監事・委員はもとより、ブロック長、そして全国54地方協会長のリーダーシップのもとで、会員個々が自分の枠を超えて新しい力を発揮し、生命保険の仕事に対する資質をさらに高め、高い志を胸に力強く発展していこうではありませんか。